

040

衣類備蓄の普及啓発

取組主体

株式会社 TOSEI

従業員数

340 人

想定災害

地震等

実施地域

宮城県他

- 東日本大震災時に避難所を巡回して衣類の洗濯支援を行ったことをきっかけに、災害時の衣類備蓄の重要性を普及啓発する活動を実施している。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

東日本大震災時、避難所を巡回しながら洗濯支援を実施

- 業務用クリーニング機器や真空包装機器の製造販売会社である株式会社 TOSEI は、東日本大震災時に、トラックに業務用洗濯機器や発電機等を積み、災害時相互応援協定を締結していた宮城県多賀城市内の避難所を約 1 か月にわたり巡回しながら洗濯支援を行った。
- 東日本大震災時、被災地では停電や断水が続き、洗濯が困難な状態であったため、気温の上昇に伴い、避難所での悪臭の発生、感染症の流行等の恐れがあった。また、津波被害を受けた地域では、着替えがなく、濡れた衣服で過ごすことで、低体温症により命の危険に関わる例も多かった。



宮城県多賀城市での洗濯支援の様子

- また、避難所への衣類の支援における問題点も明らかとなった。例えば、多くの衣類が段ボールに入った状態で届き、なにが何点入っているかが分からないため、被災者に配布する際、開梱し、男女別、サイズ別等に仕分けする手間がかかった。また、洗われていない古着や避難所では不必要なドレス類等、受け取る人がいない衣類がゴミの山となり、かえって処分コストがかかるという問題も起きていた。

衣類備蓄の重要性を普及啓発するセミナー＆ワークショップを開催

- 多賀城市での避難生活を見た経験から、衣類の支援が適切であることに気付いた同社は、日本繊維製品消費科学会、衣料管理協会及び避難所・避難生活学会等と連携し、発災時の衣類の支援、備蓄に関する研究、講演活動を継続している。
- 令和元年 5 月には、宮城県名取市で、尚絅学院大学と共同して「災害時 子どもたちの命を守るために～忘れていませんか？衣類の準備～」と題したセミナーとワークショップを開催し、災害への備えとして、真空パックにした衣類や紙オムツを準備しておくことの重要性を説いた。
- ワークショップの際に来場者にアンケートを行ったところ、飲料水や非常食、携帯の充電器等を避難時の備えとして準備している人は多いが、タオルや衣類、子ども用の紙オムツ等を準備しているという人はおらず、東日本大震災を経験した地域であっても、衣類備蓄に関する意識は依然として低いと感じている。



衣類備蓄の啓発セミナーで紙おむつの真空パック方法を実演

特に水害時は、発災当日に清潔な衣類に着替えられるかが生死を分ける

- 近年、各地で水害が多発している。避難所では、防災毛布が備蓄され、被災者 1 人 1 人に配布されるが、毛布 1 枚が敷物にも、寝具にも、防寒具にもなっているのが現状である。着替えがなく、濡れた服のまま過ごせば低体温症や感染症を引き起こすリスクがあり、発災当日に清潔な衣類に着替えられるかが生死を分けることになる。
- このため、同社は、各家庭が食料や水等に加えて、非常用の衣類の備蓄を避難時に持ち出すことの必要性について説明する活動を継続していく考えである。

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 同社は、繊維業やアパレルメーカー等の「衣」に関わる各業界に向けたセミナーを年に 4 ～ 5 回開催し、衣類に関する支援の重要性や留意すべき事項等に関する情報発信を続けている。行政と業界団体が協力し、防災協定を締結することにより、避難所での衣類備蓄の取組が推進されるよう働きかけている。

3 現状の課題・今後の展開等

- 同社は、各家庭に対しては、衣類はかさばることや、水害時に濡れて使い物にならない可能性もあることから、真空パックを活用しコンパクトに収納することを推奨していく。
- 避難所においては、支援物資の衣類が到着するまでの数日間分の肌着、靴下（エコミークラス症候群防止のために弾性ストッキングが望ましい）、長袖のポロシャツ、ジャージ、タオル、軍手等が避難者に即時配布されることが望ましいことから、これらの衣類等を、性別・サイズ別にオールインワンで真空パッケージ化し備蓄するよう、行政機関に対する働きかけを継続していく。



真空パック化することで、場所を取らずに保管でき、カビ等の発生も防ぐことができる

4 周囲の声

- 被災地に衣類を送ればよいというわけではなく、避難所での配布のことも考慮した支援の方法を、災害が起こる前に十分検討しておく必要があると感じた。また、個人としても家庭の非常持ち出し袋の中に衣類は入れていなかったもので、帰宅したら早速準備をしたいと思う。（セミナーに参加したアパレルメーカー関係者）

担当者の声

- 「衣食住」という言葉で「衣」が最初に来ているのはなぜなのでしょう。厳しい自然環境から生命を守り、人間としての尊厳を保つためにも、衣類は食事や住居とともに必要不可欠です。衣類の備蓄の重要性について多くの方に知っていただき、行動に移すきっかけになれば幸いです。

問合せ先

株式会社 TOSEI 法人番号 4010701033962
TEL : 03-6422-7280 FAX : 03-6422-7286

動画

